

キャラクター名  
白瀬 真尋(しるせ まひろ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント
	キュマイラ					
オプション	年齢		17	性別		女
覚醒	感染	衝動	加虐	初期侵食率		29 %
出自	疎まれた子	経験	大勝利	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	6	1	1			8	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪	白兵	8r+4	1	9		
ゲットレディ	白兵	12r+4	1	9		戦闘の準備をしつつ、戦闘移動を行う 侵蝕値10 2+3+5
パワーオブクロウ	白兵	12r+4		13		C値8 侵蝕値4 1+4
ビーストフォース	白兵	12r+4		13+6D		C値8 侵蝕値6 80↑ 1+4+6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
情報収集チーム	
スマホ	
アクセサリ	
カジュアル	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス: 申し子	P	N		
祖父母	P 誠意	N 恐怖		
後輩	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:キュマイラ	2	2	メジャー			対決		
効果:	C値-LV(下限値7)							
完全獣化	2	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	肉体を使用した判定のダイス+LV+2							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	命中0 攻撃力LV+8 ガード値1							
獣の力	2	2	メジャー	武器		対決		
効果:	攻撃力+LV*2							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	戦闘移動を行う							
神獣撃	4	2	メジャー	武器	単体	対決	80↑	
効果:	攻撃力+[LV+2]D メインプロセス終了後完全獣化解除							
セレリティ	1	5	メジャー	至近	自身	自動		
効果:	メジャーアクション2回 HP10-LVロス							
至上の毛並み	★		常時	至近	自身	自動		
効果:	美しい毛並みを持つ獣に変化する							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生真面目な性格のエージェント。  
誰に対しても下手に出る上に少し臆病なところがあるせいで人に妬められることが多々ある。  
こんなことになっているのは幼少期の出来事が原因で、家柄の問題で生まれてくるのを望まれていたのは男の子だった。  
しかし、実際に生まれてきたのは真尋だったため親族からはあまり歓迎されなかった。  
それでも両親は大事に育ててくれたためグレスこともなく育ったのだが、家にいる間は常に人の顔を窺って生活していたためこんな性格になってしまった。  
中学生2年の半ばごろにレネゲイドウィルスに感染し、一時生死の境を彷徨うもオーヴァードとして覚醒することで生き延びた。  
オーヴァードになったのを期にUGNの存在を知り、人々の役に立つのならばとUGNに入った。  
当然危険なことも多いので両親は反対したが、説得に説得を重ね何とか許してもらった。  
エージェントになったからは放課後にUGNとして仕事をするようにになったが、しばらくは特にこれと言ったこともなく過ごしていた。  
中学校の卒業式の日、学校にジャームが襲来する事件が発生した。  
それまでは先輩エージェントと組んで仕事をしていたため、一人での実戦は初めてだった。  
生徒を守るため交戦するも押され気味のまま体力が尽きようとした時に『申し子』としての才能が開花。  
その力を使ってジャームを撃破することに成功する。  
新米エージェントが一人で多くの人を助けたということで支部の仲間達からは「大手柄だ」と褒められた。  
それからは下手に出る性格は相変わらずだが、自分に自信が持てるようになった。  
現在は高校生とエージェントを掛け持ちしており、昼間は学生、放課後はエージェントと二足の草鞋を履きながら日々を過ごしている。  
最近はそのそこ実績も積んだということで後輩を一人担当することになった。